

ぶちくれだより

日差しの強さに本格的な夏の訪れを感じるようになりました。暑さに負けずに楽しく過ごしたいですね。今年度は5か所での開催となり、5月の企画は『手形足形アート』6月の企画は『歯磨きしゅっしゅ』を行い楽しんでいただきました。

5月の企画

どろん子クラブ

1組の親子が参加してくださいました。丁度、誕生月で手形を取りメダルを作成しました。企画の足形もとり工作でこいのぼり足形アートを作成しました。色付きマジックでお母さんが足形こいのぼりの周りに花や模様を描いてカラフルなこいのぼりが出来上がりました。



そよかぜクラブ

4組の親子が参加してくださいました。手形足形を取ることが初めてのお子さんは恐々やっていたのですが、ちゃんと押すことができ、にっこり笑顔でした。右足をとった後、「こっちも！」と左足も意欲的に出すお子さんもいて、スタンプも楽しんでいました。



6月の企画

南大谷クラブ

2組の親子が参加して下さいました。シール、クレヨンでカバの顔を作り、歯ブラシにも色とりどりのシールを貼り、歯磨きセットが完成しました。音楽に合わせて歯磨きの練習をして楽しみました。最後に『だるまさんが』の絵本を読み、『げんこつ山のたぬきさん』の手あそびをして終わりました。



そよかぜクラブ

5組の親子が参加してくださいました。手遊びでは、親子で和気あいあいとした様子で笑顔が見られました。制作もシールを貼ったり、マジックで顔などを描いたり親子で楽しそうに「ここに貼るの?」「いっぱい描けたね」など会話をしている様子がありました。



今後の予定

各開催クラブ、先着5組までとなります。(8月はお休みです)

ご利用の際は開催クラブへご予約のお電話をお願いします。開催時間 10:30~11:30

9月 開放：7日、28日 企画：14日 「ミニうんどう会」





気をつけたい！暑さ対策



外あそびでのマスク使用は緩和されてきましたが、暑い中でも子どもたちには元気いっぱい夏ならではのあそびを楽しんで欲しいですね。そこで、いくつか気を付けていきたいことをあげてみました。



*熱中症とは？

体に熱がこもり、ぐったりした状態になることです。体内の水分、塩分のバランスが崩れ、体温調節がうまく働かなくなって起こる症状のことを言います。とくに子どもは水分の比率が高いので脱水症状を起こしやすく、十分注意が必要です。



*熱中症の危険信号は？

顔色や汗、元気かどうかに注意しましょう。熱中症の症状として頭痛や吐き気などがあります。自分で訴えることができる場合は良いですが、小さいお子さんの場合は、常にそばにいる大人が注意を払い、顔色や汗の量、普段との様子の違いを気にすることが大切です。



*熱中症かな？と思った時には

体を冷やして、水分補給をすることが一番です。顔が赤い、いつもより元気がないなどの気になる様子が見られたら、エアコンの効いた部屋で体を冷やし、水分を補給しましょう。その際は水、麦茶やイオン飲料など子どもが飲みやすいもので構いません。



*予防するには？

休養と水分補給が大切です。夏の間は午後の一番暑い時間帯はお昼寝ができれば一番良いのですが、眠れなくても横になって休養できる時間を取ることをお勧めします。外あそびの最中は約30分おきに水分補給の時間を取り、あそびに夢中になって水分を取り忘れることのないように注意しましょう。子どもによっては、普段から体を冷やして休むことの大切さを話しておくことも必要でしょう。



*室内の温度管理は？

エアコンの温度表示だけに頼らず、温度計を確認しましょう。一般的には節電の意味合いも含めて 27~28℃に設定と言わせていますが、窓の向きや西日が入る部屋では室内温度は上がってしまうので、温度計を使って設定をこまめに調節しましょう。特に食事時や就寝時は暑くて食が進まないとか、寝苦しいということが無いようにすることが大切です。